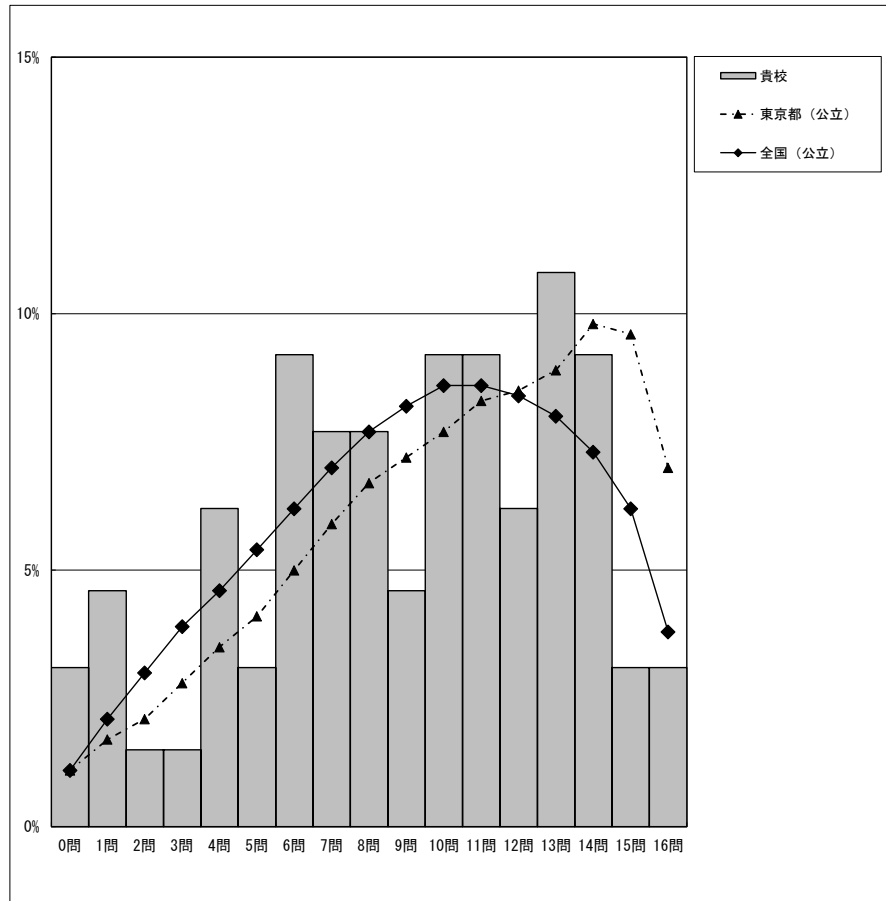


・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。
※ただし、4月17日に調査を実施していない学校については、4月18日以降4月30日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
江戸川区立二之江第二小学校	65	9.0 / 16	56	10.0	4.2
東京都（公立）	93,933	10.2 / 16	64	11.0	4.1
全国（公立）	936,399	9.3 / 16	58.0	10.0	4.0

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）

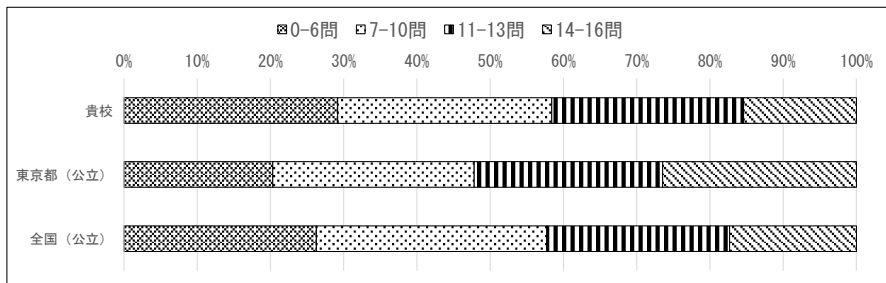


正答数集計値				
正答数	児童数	割合 (%)		
	貴校	貴校	東京都 (公立)	全国 (公立)
16問	2	3.1	7.0	3.8
15問	2	3.1	9.6	6.2
14問	6	9.2	9.8	7.3
△ 13問	7	10.8	8.9	8.0
12問	4	6.2	8.5	8.4
11問	6	9.2	8.3	8.6
◇ 10問	6	9.2	7.7	8.6
9問	3	4.6	7.2	8.2
8問	5	7.7	6.7	7.7
7問	5	7.7	5.9	7.0
▽ 6問	6	9.2	5.0	6.2
5問	2	3.1	4.1	5.4
4問	4	6.2	3.5	4.6
3問	1	1.5	2.8	3.9
2問	1	1.5	2.1	3.0
1問	3	4.6	1.7	2.1
0問	2	3.1	1.1	1.1

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	貴校	東京都 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	13.0問	14.0問	13.0問
◇ 第2四分位	10.0問	11.0問	10.0問
▽ 第1四分位	6.0問	7.0問	6.0問

正答数ごとの層分布（全国四分位）



上記の通り、令和7年度の平均正答率は、東京都平均から8ポイント、全国平均から2ポイント下回っている。観点別にみると、東京都平均から「知識・技能」は7.1ポイント、「思考・判断・表現」は8.2ポイントの落ち込みがみられた。また領域別にみると、東京都平均から「測定」については11.3ポイント、「図形」については8.9ポイントも低い。しかし、昨年度と比較すると、東京都平均が4ポイント下がっている中で、本校の平均正答率は4ポイント上がっている。東京都平均との差は昨年度よりも8ポイント縮まっている。

今後の授業実践の中で、基礎的・基本的な学習内容が定着するために、「教科書とノートを使用し、読んだり写したりする」学習や「ノートをていねいに書き、正しく読みやすい字や数字で書く」などの規律を徹底していく。

また「問題文をよく読み、教科書に線を引き、何を求めるのか明確にする」などの答えを求めるための技術的な指導を行っていく。

計算の仕方や法則、面積や体積を求める公式、位取りと数直線、重さ・長さ・かさの単位の関係など、関連付けながら、練習問題を解いたり、解き方を算数の言葉として理解し、一般化し、説明できるようにする。